

Phoenix Club

第5回 広島大学ホームカミングデー

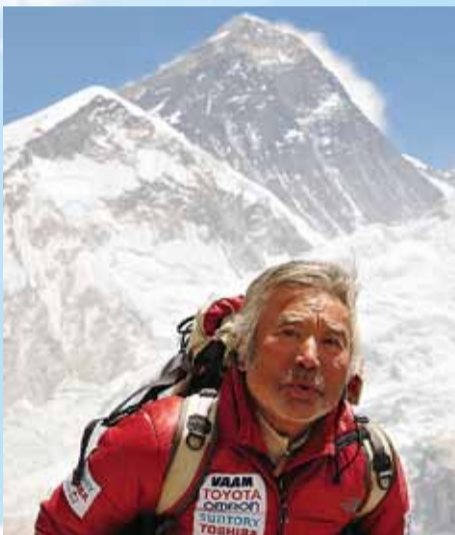
平成23年11月5日(土) 10:30～ 広島大学 東広島キャンパス

[メイン会場]
サタケ
メモリアルホール

- 9:30～ 受付開始
- 10:30～11:10 オープニングセレモニー&フォーラム
- 11:15～12:30 <文化講演> 三浦 雄一郎 氏
- 13:30～14:45 <学術講演> 北川 正恭 氏

参加
無料

文化講演



「生きがい」
人生の最高峰を目指して

プロスキーヤー、冒険家

三浦 雄一郎 氏

アドベンチャー・スキーヤーとして世界の名峰を滑降、70歳でエベレスト登頂を成し遂げた三浦さん。そのダイナミックな生き方は「感動!」の一言です。

1932年生まれ。世界七大陸最高峰のスキー滑降完全達成など。2003年 エベレスト登頂、当時の世界最高齢登頂記録樹立。その後2度目のエベレスト登頂。アドベンチャー・スキーヤーとしてだけでなく、行動する知性派また教育者として国際的に活躍中。

学術講演



「依存から自立へ」
立ち位置の転換点

元三重県知事、早稲田大学大学院公共経営研究科教授

北川 正恭 氏

「マニフェスト」を提唱して広めたのは北川さん。今の時代だからこそ、真剣に地方自治の話聞いて考えたいと思いませんか。

1944年生まれ。早稲田大学卒業。三重県議会議員、衆議院議員を経て、1995年三重県知事当選。「事業評価システム」や情報公開を進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。



ホームカミングデー学生チームが、さまざまな工夫を凝らした企画で、皆様をおもてなしします!

ぜひ、広島大学にお越しください!!

このピンクの
ジャンパーが
目印です!!!

第5回広島大学ホームカミングデーご案内

平成23年11月5日(土)
広島大学 東広島キャンパス

参加無料



● 連携市町の物産展
時 10:30～17:00
所 サタケメモリアルホール前広場
東広島市、三次市、世羅町、北広島町、大崎上島町などの物産が結集。



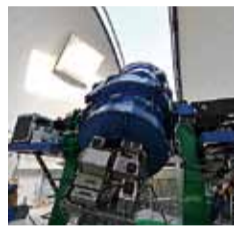
● 「広島大学の歴史」展(文書館)
時 10:30～17:00
所 サタケメモリアルホールロビー
毎年大好評。懐かしい写真などに会えます。



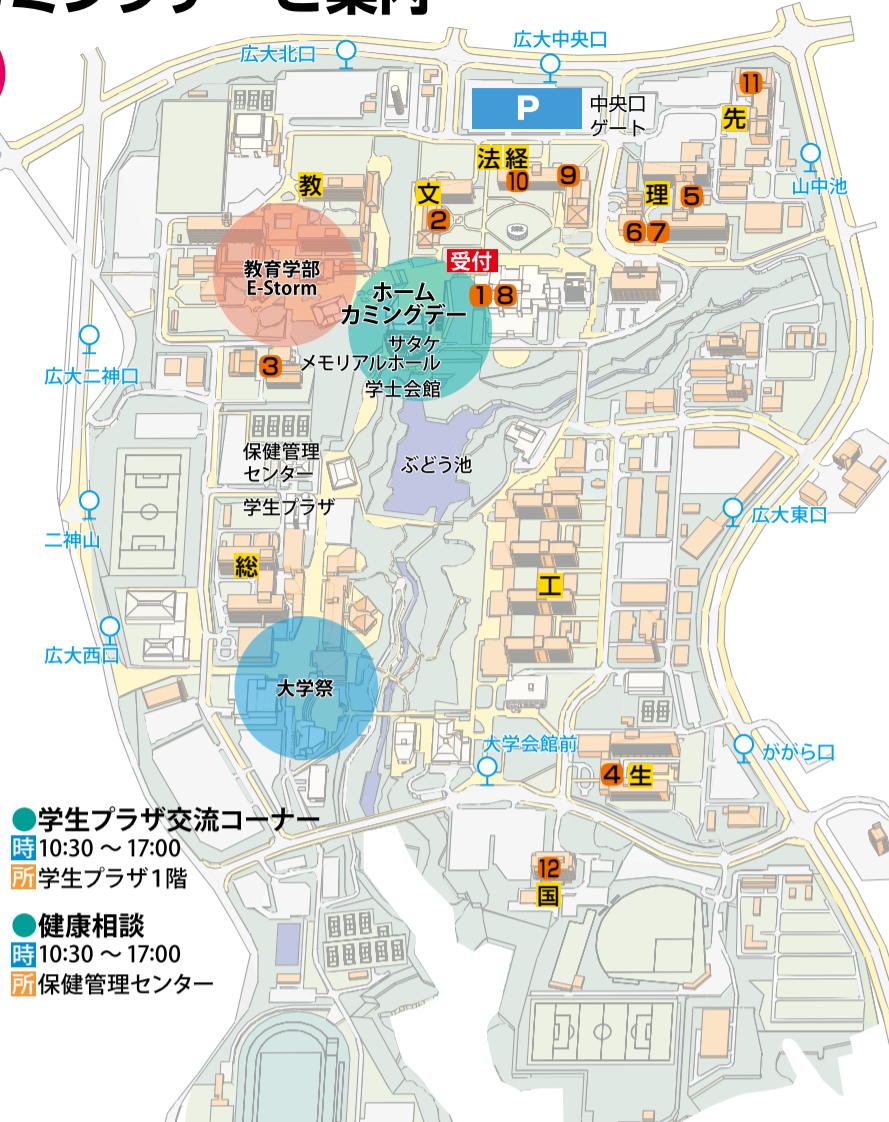
● 懇親会(会費制)
時 15:30～17:00
所 学生会館レセプションホール
西条の銘酒と懐かしい人との会話をお楽しみいただけます!



● 参上! 権伝馬(かいでんま)
時 9:30～16:15 所 ぶどう池
200年の伝統を持つ神事。勇壮な「権伝馬船」がやってきます。遊覧も実施します。



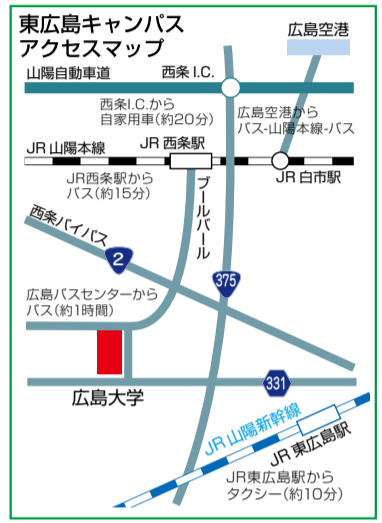
● 東広島天文台観望会
時 17:00～19:00
所 東広島天文台
世界的なビッグプロジェクト『Fermiガンマ線天文衛星』の連携拠点として突発天体観測に活躍している天文台。国内有数の望遠鏡で木星など美しい宇宙をご堪能ください。
※天文台へはマイクロバスで送迎します。



● 大学祭
11/5(土)、6(日) 10:00～20:00



● E-Storm (教育学部祭)
11/5(土)、6(日) 10:00～19:00



学部・研究科会場企画

総合科学部・総合科学研究科

記念講演会
時 平成23年11月11日(金) 14:30～16:00
所 広島大学中央図書館ライブラリーホール ①

祝賀会
時 平成23年11月12日(土) 12:00～14:30
所 ホテルセンチュリー21広島
(広島市南区的場1-1-25)
広島大学名誉教授 佐竹 明先生が日本学士院第101回恩賜賞・日本学士院賞を受賞されました。それを記念し、記念講演会及び祝賀会を開催します。

問 総合科学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-6306

文学部・文学研究科

世界とふれあう語学カフェ
時 14:00～16:00
所 文学研究科 B153 講義室 ②
講義棟1階学生ロビー
留学生が講師となり、日常会話レベルの外国語や出身国の生活、文化などを紹介します。5回目の今年度は、ポルトガル・韓国・中国からの留学生が講師を務める予定です。留学生の出身国のお菓子を食べてお茶を飲んだりしながら、気軽に異文化を体験してください。

問 文学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-6604

教育学部・教育学研究科

演奏会
時 14:00～15:30
所 教育学研究科 F棟101号室 音楽演奏室 ③
音楽コースで選ばれた学生による演奏会です。内容は、サン＝サーンス作曲「動物の謝肉祭」について、本講座の教員がオリジナルの編成をさらにアレンジしました。ピアノを中心とした室内楽編成で、中でも「白鳥」などはお馴染みの曲です。

問 教育学研究科 音楽文化教育講座
TEL082-424-6834

生物生産学部・生物圏科学研究科

食料・環境問題国際シンポジウム
時 13:00～17:00
所 生物生産学部C206講義室 ④

「農業・水産現場の自然災害からの復興」
インドネシア、タイ、中国、日本での火山噴火や大地震、津波といった自然災害による農業、水産の被災状況を理解し、復興のための大学や試験研究機関の役割について意見を交換します。講師には、ガジャマダ大学(インドネシア)、カセサート大学(タイ)、四川農業大学(中国)、石巻専修大学および広島大学の先生をお招きします。

問 生物圏科学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-7904

理学部・理学研究科

化学科研究報告会および親睦会
時 15:00～18:00 所 理学部B508(予定) ⑤
化学科・化学専攻での最新の研究成果を紹介。同窓生と在学生、職員との交流を促進します。
問 化学科長 TEL082-424-7409

生物科学同窓会
時 13:00～15:00 所 理学部E209 ⑥
OBによる講演、研究室紹介、懇親会など。
問 同窓会庶務幹事 TEL082-424-7439

地球惑星システム学専攻・学科同窓会「六水会」
時 13:00～17:00 所 理学部E104 ⑦
問 専攻事務室 TEL082-424-7469

地球惑星システム学専攻ホームカミングシンポジウム
時 平成23年11月6日(日) 13:00～17:00
所 広島大学中央図書館ライブラリーホール ⑧
中国、韓国で活躍中の研究者を招へい予定。
問 専攻事務室 TEL082-424-7469

法学部・経済学部・社会科学研究科

法学部・経済学部・社会科学研究科 合同講演会及び懇親会
時 15:00～16:30
所 法学部・経済学部B351大会議室 ⑨

- ◆ 法学部長挨拶及び学部の近況報告
- ◆ 経済学部長挨拶及び学部の近況報告
- ◆ 社会科学研究科長挨拶及び研究科の近況報告
- ◆ 経済学部教授による講演会
「中産階級の崩壊」を引き起こす「雇用の2極化」について - 欧米の現状を中心に -
- ◆ 懇親会(法学部・経済学部A102中会議室 ⑩)

問 社会科学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-7205

先端物質科学研究科

研究室公開と講演会、懇談会
時 11:00～15:00
所 先端物質科学研究科 ⑪

- ◆ 研究室公開
量子物質科学専攻研究グループ
分子生命機能科学専攻研究グループ
半導体集積科学専攻研究グループ
- ◆ 講演会及び同窓生懇談会
OBによる講演会、意見交流や情報交換の場を用意しています。

問 先端物質科学研究科 運営支援グループ
TEL082-424-7006

国際協力研究科

講演とワークショップ
テーマ: 平和構築の実務
時 14:00～16:00
所 国際協力研究科1階大会議室 ⑫

講演 題目・講師は当日発表します。
修了生対象アンケートにより「もう一度受けたい授業」を再現します。

ワークショップ
「平和構築の明日を、IDECとともに作る」
講師、修了生代表、IDEC学生代表、IDEC教員代表

- ・HiPeC IIの可能性と国際的連携
- ・修了生との連携戦略
- ・平和構築の射程 ほか

使用言語: 英語および日本語
問 国際協力研究科 運営支援グループ
TEL082-424-6905

医学部・歯学部・薬学部・医歯薬学総合研究科・保健学研究科

講演会「テレビ報道のウラ・オモテ」
時 16:00～17:30
所 霞キャンパス 広仁会館大会議室

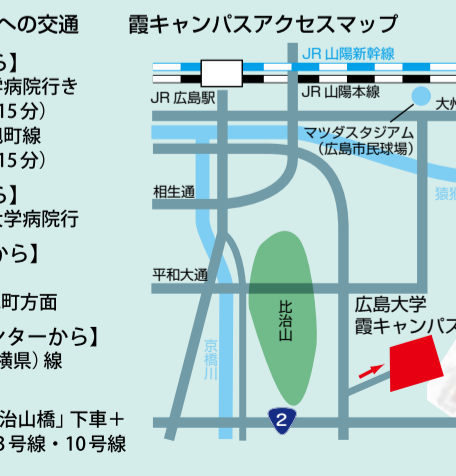
辛坊 治郎 氏
「ズームイン!朝!」リポーター、コメンテーターとして活躍してこられた氏が語るメディア論です。

親睦会
時 17:45～19:00 所 広仁会館中会議室

問 医歯薬学総合研究科 運営支援グループ
TEL082-257-5601

霞キャンパスへの交通

- 【JR広島駅から】
■ 広島バス 大学病院行き (所要時間約15分)
- 広島バス 旭町線 (所要時間約15分)
- 【JR横川駅から】
■ 広島バス 大学病院行
- 【JR西広島駅から】
■ 広島バス 大学病院・旭町方面
- 【広島バスセンターから】
■ 広島バス (横県) 線
- 【広島港から】
■ 広島電鉄「比治山橋」下車 + 広島バス 23号線・10号線



伊藤忠商事株式会社
貿易・物流統括部 物流マネジメント室 室長

鎌田 望さん
1974年 政経学部(現経済学部)卒業

サークルは人間関係を学ぶ場でもある。



「広島大学ESS (English Speaking Society) は、英語を自分のものにした学生たちのサークルです。このESSと、入学以来40年以上、関わり続けている先輩がいます。鎌田望さん。伊藤忠商事で物流を担当。国際ビジネスの一線で活躍してきた商社マンです。」

OB会に90人

先日、ESSの卒業生が集まって、東京でワイン会を開きました。90人集まりましたよ。忘年会、花見、旅行…規模の大小はありますが、年に10回以上は集まっています。場所は東京だったり、広島だったり、いろいろ。東広島キャンパスでも、年1回はワイン会を開きます。

広島にはよく行きますね。忘年会は広島です。すし、大学に話しに行くこともある。ええ、東京から「わざわざ」出かけて行きます。この半年間だけでも3回行っています。

卒業から35年以上経って、こんなに大学に行っている卒業生も少ないんじゃないですか(笑)。周囲からも、敬服されながら、半分、呆れられますね。

ESSがない!

ESSには強い思い入れがあります。中学校で英語を習い始めたら、面白くて、すっ

針だったからじゃないでしょうか。成績表は提出しなくていい。その代わり、何回も面接に呼び出されました。だんだん、面接官がエライ人になっていくんです。

その姿勢は今でも同じだと思いますよ。やっぱり、商社は「人」です。仕事も「人間関係」で成り立つところが大きい。特に海外での営業では、人間的な信頼関係の上に取引が成立することが少なくありません。異動にあたって仕事の手順は引き継ぐことができません。こういう人間関係は引き継ぐことができない。結局「個人」の人間性が大きなウエイトを占める、ある意味、きわめて人間くさい仕事なんですね。

そういう仕事に対応できる人間かどうかは、大学の名前や成績では判断できません。「人を見る人」試験は、商社の基本だと思います。

「部下に持たたい人か」

では、どうやって「人を見る」か。伊藤忠では、数人の面接官がチームを組んで何グループかの面接をして、チームごとに一定人数を選びます。不思議なことに、例えば面接官が5人居たとすると、5人の評価はだいたい同じ。極端に意見が分かれることはないですね。

どうしてかという点、面接官の判断基準は「部下に持たたい人間か」という1点だからです。

特に私が重視するのは、リーダーシップ、責任感、協調性。組織の中で何かをやらうと思うと、上司や先輩、部下を説得して引っぱっていかねければならない。やり遂げるといって強い責任感と同時に、そのために他の人間と協調することも必要です。組織は「人」で動いているのです。

「挫折」に負けない

大学時代のサークルは「人間関係のルツボ」です。多感な年頃ですからね。ESSでも恋愛の相談とか、誰とケンカしたとか、そんな話がたくさんありますよ。

最近では、こういう人間関係がイヤで部活をしないという学生もいるそうですが、それじゃ、社会に出たら通じません。

社会は人間が集まって動いているわけですから、思いと違うこと、思い通りに行かないこと、挫折感を感じることは、いくらでもあります。大学時代に人間関係から逃げていた人には、厳しいと思いますよ。

学生時代にクラブやサークルに参加し、「人間関係のルツボ」にどっぷりはまって、しっかりと力を蓄えることをお勧めします。

鎌田さんの広島大学時代

ESS復活を目指して1人で活動を始めた鎌田さん。その後、前ESSメンバーの上級生と出会い、3人でESSをスタートすることになった。部室はなく、「芝生にテープレコーダーを持ち込んでケネディ大統領の就任演説を聴く」というささやかな部活だったが、短期間で120人ほどのサークルに成長。存在の大きさが認められて部室も確保した。



ディベートコンテストで岡山大学との激しい戦いの末、優勝した広大ESS。鎌田キャプテンの勝利のスピーチ。1972年。



合宿では「日本語使用禁止」という厳しいルールも敷いたが、遊びを取り入れたプログラムは人気があった。

取材の後で



■鎌田望さんプロフィール■
愛媛県出身。伊藤忠商事入社後は「初日から英語で仕事をする生活だった」。ロンドン、オスロ(ノルウェー)、シンガポール、ニューヨークと海外を歴任。世界中に人脈を持つ。

◆「最後は、人と人。仕事は引き継いでも人脈だけは引き継いがない」——直接人と関わることの大切さを考えさせられました。こういう先輩のお話は大学の授業では学べない社会的な教訓が学べる。知ることができると、とても刺激的です。残りの学生生活をどう過ごすかを考える良い機会となりました。(経済学部2年 平川)

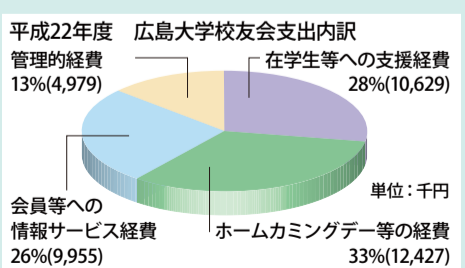
◆ESSをわずか1年で1000人規模にまで拡大。仕事でも、体当たりのコミュニケーションで人脈を広げてくれた鎌田さん。情熱を傾けられることに真っ直ぐに向き合って実現させる行動力とエネルギーに感動しました。大学生活のみならず人生単位で、自分の「好き」を貫くこと、未知のフィールドに飛び込み続けること、そして人と人の関係を構築することの大切さをあらためて学びました。(経済学部2年 東)

校友会事務局から

平成22年度 広島大学校友会支出報告

広島大学校友会については、今年で設立5年目を迎え、これまでの活動内容を検証しつつ、広島大学校友会活動を更に充実させることとします。今後は、在学生の支援を更に力強く支援するとともに、卒業(修了)後は、大学の近況情報をお知らせし、生涯にわたって、母校との連絡を強化し、広島大学校友会への入会を更に促進することとしております。

なお、平成22年度の支出総額は37,990千円となっております。事業項目ごとの内訳については、上の円グラフ表のとおりとなっております。また、平成22年度の収入を含めた詳細な収支状況については、広島大学校友会Webサイトに掲載しております。



平成22年度広島大学校友会事業報告

平成22年度における広島大学校友会の事業項目ごとの活動内容については、次のとおりとなっております。

- 校友会の情報交換と情報共有の促進
 - ◇ 校友会だより第8、9号の発行、Webサイトより情報発信
- 学生への様々な支援
 - ◇ 学生の教育研究活動(ドリームチャレンジ賞)及び課外活動の支援、エコバッグの支援
 - ◇ 父母と大学との連携支援
- 校友間の交流支援
 - ◇ 入学式、学位記授与式における送迎バスの支援
 - ◇ 第4回広島大学ホームカミングデーの開催
- 人会促進費
 - ◇ 校友会案内リーフレットの配付、入会記念グッズの配付、各種印刷物の発行等
- 校友会事務局経費
 - ◇ 校友会事務局人件費(理事会3回、幹事会5回) ◇ Web作成・管理等

「地道に、コツコツと。」

原子力発電所事故被災地に寄り添う広島大学。

広島大学緊急被ばく医療推進センター 神谷研二センター長に聞く



34班延べ980人の医療スタッフが出動

—東京電力福島第一原子力発電所の事故……被ばく医療にかかわってこられた先生として、特別な思いがあるのではないのでしょうか。

まったく、残念の極みです。21世紀になって、こんな放射線事故が起きるなんて。「原子力発電は安全だ」という神話のもとで、非常時対応の訓練を行ってきまして。放射線被ばく医療の専門家も世界的に非常に少ないんですよ。その中で、広島、長崎は原爆被災地として被ばく医療に関するデータや知識の蓄積があります。果たすべき役割は大きいと思っています。

—福島原発事故では、具体的に、どういう対応を？

広大の対応は、とにかく速かったですね。地震発生の日には緊急被ばく対策委員会を立ち上げ、すぐに医師と看護師を被災地に派遣しました。車2台を広島から持って行って現地対策本部に入り、汚染検査や除染を担当するチームを作り、万一重篤な症状の被ばく者がした場合のトリアージ（治療優先度の判定）や搬送ルートの決定など、国や福島県と一体になって現地で医療システムを構築し、それを記録するという役割を担いました。

—放射線被害だけのサポートチームですか。

そうです。もちろん、広島県が派遣する医療チームにも医師や看護師が参加して支援活動していますが、それとは別に、広島大学から被ばく医療チームを34班、延べ980人、福島に派遣してきました（8月2日現在）。というのも、広大は、「西日本ブロックの三次被ばく医療機関」として、国の緊急被ばく医療体制を担っているからです。

医療だけでなく総合的な支援を

—国の放射線被ばく医療体制の中に、広大は位置づけられているのですか。

広大は昭和33年に放射能に関する研究施設を設置し、原爆被爆者の皆さんの調査や治療などの研究を行ってきました。一方、国は平成11年の東海村臨界事故の後、千葉の放射線医学総合研究所（放医研）を中心に被ばく事故への体制づくりを進めてきた。被ばく医療の専門家のネットワークを背景に、東日本は放医研が、西日本は広大が専門的入院診療を行う「西日本ブロックの三次被ばく医療機関」として指定されました。これに対応して広大は「緊急被ばく医療推進センター」を開設し、地域の医療機関などとの連携体制を構築してきました。おかげで、福島原発事故にもすぐに対応できたのです。

—しかし、事故の収束は見えていません。これから長い活動になりますね。

まったくそうですね。放射線は人体への被害だけでなく、社会を破壊する力を持っているんだと痛感します。力とは、見えないものに対する「不安」です。福島でも、健康や先の生活に対する不安から、いろいろなレベルで問題が発生しています。住民の皆さんに、正しい情報をていねいに説明していくことが重要だと痛感しています。

—医療だけではないということですか。

特にこれからは心理学や教育学に加え、社会科学的なサポートが必要です。私は福島県立医科大学の副学長として、被ばく医療の体制づくりや人材育成のお手伝いをすることになりましたし、広大も、7月に福島大学と包括連

携協定を結び、総合大学として多角的に協力していくことになりました。何といても広大は、原爆で悲惨な経験をしながらか、立ち直っていったプロセスと、66年間苦しんできた被爆者の苦しみと、両方を知っています。福島の皆さんの心情に寄り添った支援ができると思います。

被ばく医療の専門的な人材育成を

—広大ならではの支援ができるということですね。

はい。今回の原子力災害の被災地支援、復旧活動への参加は、人類最初の核被害を受けた広島大学の大学としてのミッション（使命）だと思っています。特に、原爆放射線医学研究所を擁する大学として、被ばく医療の専門的な人材を育てることは重大です。本当に、人材不足は深刻ですよ。—広大が重要な使命を担うことになりませんか。

当初から、浅原学長は全面的な支援を表明しています。だから、私どもも全力で被災地に向き合うことができるんです。浅原学長からは「10年後に福島県民から本当に役立つと言われる仕事を、地道に、コツコツとやっていきましょう」と言われています。ミッションは重大だが、あくまでも、広大原医研でやってきたことをベースに地道にやっていきたいと思っています。



神谷研二教授

広島大学原爆放射線医学研究所教授、所長。広大緊急被ばく医療推進センター長として、福島原子力発電所の事故被害サポートのリーダーを務める。福島県の放射線健康リスク管理アドバイザー、福島県立医科大学副学長も兼務することになった。

「超伝導」「次世代スパコン」「電流を使わない半導体」……HiSOR（ハイソー）の活動を紹介するプリントには、未来を感じさせる言葉が並んでいます。「紹介しているのは、HiSORを舞台に実験を行い、論文として発表し、世界から注目を集めている研究です」——センター長の谷口雅樹教授が言葉を添えます。同じく、ここで開発されたタンパク質の構造を解析するシステムは、ガン細胞に集中的に薬を集める医療技術などへの応用が期待されています。

国内4カ所の放射光共同実験施設



理学部・理学研究科 谷口雅樹教授。HiSOR開設以来センター長を務めている。

放射光は、人間がつくり出す、新しい光。宇宙のみなたでは放射光が飛び交っています。地球上には自然の状態では存在しません。これを、超高真空の特殊な装置の中で発生させ、必要な波長の光だけを取り出すのが放射光実験施設。国の施策によって日本全国に4つの共同利用施設が設けられており、HiSORもそのうちの1つ。国立大学としては唯の施設です。

広島大学 放射光科学研究センター (HiSOR)

宇宙レベルの実験拠点に 国際レベルの研究者が集う 異次元空間 未来を目指す研究が続々と

「超伝導」「次世代スパコン」「電流を使わない半導体」……HiSOR（ハイソー）の活動を紹介するプリントには、未来を感じさせる言葉が並んでいます。「紹介しているのは、HiSORを舞台に実験を行い、論文として発表し、世界から注目を集めている研究です」——センター長の谷口雅樹教授が言葉を添えます。同じく、ここで開発されたタンパク質の構造を解析するシステムは、ガン細胞に集中的に薬を集める医療技術などへの応用が期待されています。



キャンパス ZOOM

放射光はきわめて短い波長の光。これを使うことで、ナノ（10億分の1メートル）レベルのミクロの世界を映し出したり、物質の性質や反応を調べたり、さらには、人工的に新しい物質を創り出したり……といった、私たちの日常生活とは別次元のミクロの世界でのサイエンス活動が可能になります。ミクロ世界では、鉄や炭素、微生物など多くの素材や生物が、日常生活とはまったく異なる物性を発揮し、これまで考えられなかった素材や新機能のデバイスなども実現できます。

放射光実験ステーションでは、大学院理学研究科の院生が黙々と実験をしていた。

広島大学校友会 だより
Phoenix Club
『Phoenix Club』Vol.10
平成23(2011)年8月29日発行
(年2回発行予定)
編集・発行:広島大学校友会事務局
〒739-8514 東広島市鏡山一丁目7番1号
学生プラザ2階
TEL & FAX (082) 424-6015
8:30~17:00(土日祝を除く)
E-mail ● sec@phoenix.hirodai.jp
Webサイト ● http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/